

令和7年度 第1回 学校運営協議会

1. 日時 令和7年5月21日（水）10:00～11:30

2. 出席者

(1) 学校運営協議会委員

【委員①】元特別支援学校校長

【委員②】一般企業常務取締役（地域コーディネーター）

【委員③】浜松市役所社会福祉課課長

【委員④】耳鼻咽喉科医師

【委員⑤】卒業生保護者

【委員⑥】自治会副会長（地域コーディネーター）

(2) 校内教職員

校長 副校長 事務長 幼稚部主事 小学部主事 中学部主事 支援部主任 教務主任

3. 会議次第

(1) 校長あいさつ

(2) 協議会委員委託 会長選出・承認

(3) 自己紹介

(4) 学校運営協議会について

(5) 本年度の学校運営について

(6) 部経営について

(7) 授業参観（校内見学）

(8) 質疑・御意見聴取

4. 協議等記録

○校長あいさつ

本校は、昨年度百周年を迎え記念式典を行った歴史のある学校。子どもの人数は幼稚部7人・小学部16人・中学部12人の3学部合計35人と減ってきている。聴覚障害のある子どもたちが、将来を見据えて地域の中で生きていく力を身に付けるために学校ができることを一緒に考えていきたい。

○協議会委員委託 会長選出・承認

委員①に会長を依頼。受けていただく。

○学校運営協議会について：校長より

コミュニティスクールの仕組みの説明。学校運営協議会の役割は「校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること」「学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができること」「教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができること」の3点。

○本年度の学校運営について：校長より

学校教育目標：「たくましく 心豊かに」をきっかけ、言語力の向上を軸に、共生・共育社会を実現する

人を育てるために、幼稚部・小学部・中学部・支援部・寄宿舎5つが連携して、地域とつながっていき
たい。今後の教育活動に活かせるように学校運営協議会で協議していききたい。近年は少子化で、他の人
の意見を聞く機会が限られている。将来、広い社会に出ていくために、地域の中で自分らしく生きてい
くために、居住地が遠く寄宿で生活する子も含め、地域の中で人かかわる力を伸ばし、学ばせたい。そ
のために学校で何ができるか、御意見をいただきたい。今年度は、ICT 機器の活用にも力を入れていく。
これまでは遅れがちだったが、他の学校同様に、ICT を使える子を育てていきたい。

○部経営について

<幼稚部>

スローガンは「遊びが広がる 元気な幼稚部」。こども7人教師5人の少人数で運営。重点は「いきい
き」の遊びの充実。「しなやか」では、地域の自然に多く触れる機会を設定し、地域と関わる教育活動
を行いたい。

<小学部>

とにかくこどもたちが期待感をもって毎日学校に来ることを目指す。新しい教員も含め、伝え合いの約
束の徹底をはかりたい。子どもの人数が減ってきているため、学年を超えた活動にも力を入れたい。低
学年と高学年でペアそうじ活動を進めている。ICTは目的をもって意義のある活動を。校外学習・交
流も充実させていきたい。

<中学部>

生徒数12人。スローガンは「学び合い高め合う中学部」。全員でかかわりをもちながら活動をしてい
きたい。ICT活用では、1人1台端末を活用し、他校とつながる学びを行いたい。将来地域で生きて
いくためにキャリア教育も確実に進めていきたい。昨年は卒業生の体験談を聞く機会を設けた。年の近
い人の話が効果的だった。必然的な学びの場を設定していききたい。

<支援部>

本校在籍以外の難聴児の全般的な支援を行っている。乳幼児から18歳まで支援を行っている。保護
者・福祉・在籍校と連携して、居住の地域でよりよく生きていけるように継続的な支援をしていき
たい。新任教員とも学び合いながら専門性の維持を目指す。

<寮務部>紙面で確認を。

○議員さんから感想等

委員②：ICTは世界が広がるので、1人1台有効に使っていただきたい。

委員③：支援部の子どもICTを活用できていると聞き、学びの場面が増えるのはすばらしいと思う。国
をあげてICTの推進をしている。今後は更にICTに強い若い世代を育てる必要がある。

委員④：補聴器・人工内耳もICTとのつながりが強い。今後はさらに強みとしていけると期待。

委員⑤：ICTも大切だが、多感な時期。心のケア大切にしていきたい。

委員⑥：地域の普通小学校でもICTが盛んに使われている。ICTばかりではなく、地域で人とのつ
ながりもより大切にしてほしい。

委員①：地域の中で多くの人とつながりながら、学校での課題や取り組みを地域にも知ってもらって、
共に解決していけるとよい。ICTの力も借りながら、交流等人とかかわる力を育てられるよ
う、みなさんに御意見をいただきながら進めていきたい。

校長：昨年度の地域とのかかわりは一覧表にまとめてある。地域の人と安心してかかわれるように、こ

んなことをやったらいいというご意見をいただきたい。ICT頼りになりすぎない方法も一緒に考えていきたい。

○授業参観（校内見学）を終えての御意見聴取

委員②それぞれ個人差に合わせて指導する大変さがあると感じた。少人数だからできることもある。

委員③明るい雰囲気。積極的に活動している。

委員④通院してくる幼稚部からの子の学校での様子が見られてよかった。中学部になると聞こえ、発音に差がでてきていると感じた。

委員⑤久しぶりに寄宿舎を見て、変わらない安心感をもった。タブレットを使っていて進んでいるなど感じた。

委員⑥子ども達がいきいき活動できている。

委員①幼稚部から個々の実態に合わせて丁寧な教育をおこなっている。中学部になると学習内容がたくさんになって大変だが、以前勤務していたときは、「言葉を育て、心を育てる。」ことを大切にしていた。ICTを活用しながら、個々に合わせた教育を行うことで地域・人とのかかわる力を伸ばしていけたらと期待している。

○校長あいさつ

近年は、聴覚障害教育に携わったことのない教員が赴任することが増えている。子どもが減る＝教員が減るのはやむを得ないが、専門性の継承をどうしていくのが課題。1、2年で専門性が身につくものではない。そんな中で子ども達の心を大切にしながら教育活動を進めていきたい。

○今後の予定：副校長より

第2回 10/28（月）午後

第3回 2/17（月）午前中

3回目には再度校内参観して評価をしていただきたい。6/1運動会にもぜひ足をお運びください。